レスポンシブル・ケア活動 102-12,102-15,103-1,103-2

日々の安全確保と環境保全を図るため、化学に携わる企業の自主管理活動である「レスポンシブル・ケア(RC)活動」に取り組んでいます。

社会的課題と花王が提供する価値

認識している社会的課題

製品の安定供給や品質・安全性の確保、安全で衛生的な労働環境の提供および事業活動による環境負荷の低減は、国内外に拠点を設け、幅広い産業界に多種多様な素材・製品・システムを提供するケミカル事業を有する企業として、果たすべき重要な社会的責任です。

花王が提供する価値

化学産業界の自主的な環境・安全・健康を確保する活動である「レスポンシブル・ケア(RC)活動」を推進することで、倫理的な観点からも社会との信頼関係の構築を通じた持続可能な社会づくりをめざしています。

「2030年のありたい姿」の実現に関わるリスク

RC活動の基本項目一つひとつが化学産業界にとって重要活動であるため、一つでも欠けると社会的レピュテーションが毀損されます。

「2030年のありたい姿」の実現に関わる機会

企業の自主的な活動である「レスポンシブル・ケア(RC)活動」を推進することで、地域との強い信頼関係が構築されることは、ステークホルダーの花王製品や会社への信頼につながります。

貢献するSDGs

方針

化学品の製造・販売・流通等に関わる花王は、製品のライフサイクル(製品の開発・製造から使用・消費・リサイクル・廃棄に至るまで)において、環境・健康・安全を確保し、その取り組みを継続的に改善し、生活の質の向上と持続可能な社会の実現に貢献することにより、社会からの信頼の向上に努めています。

この目的達成のため、「環境・安全の基本理念と基本方針」を定めるとともに、「花王レスポンシブル・ケア方針」を定め、事業活動を行なっています。

花王は1995年の日本レスポンシブル・ケア協議会設立当初から「RC活動」に参加しており、2008年には当時の尾崎社長が「RC世界憲章」の支持宣言書に、さらに2014年には澤田社長が改訂された「RC世界憲章」にそれぞれ署名を行ない、RC活動を花王全体で推進していくことをコミットしています。

化学産業界の「環境・健康・安全」に関する「レスポンシブル・ケア(RC)活動」の基本項目※の考え方に則った「花王レスポンシブル・ケア方針」を定め、協力会社を含めた花王全体で毎年目標を策定し、年間計画に基づいた活動を継続的に行なっています。

※「レスポンシブル・ケア(RC)活動」の基本項目:「環境保全」「保安防災」「労働安全衛生」「化学品・製品安全」「物流安全」の5つの推進項目と「社会とのコミュニケーション」

➡環境・安全の基本理念と基本方針
www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/environment-safety-principle-policies.pdf

➡花王レスポンシブル・ケア方針
www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/responsible-care-policy.pdf

レスポンシブル・ケア活動 102-20,102-43,103-2,403-5(労働安全衛生2018),404-2

教育と浸透

製品のライフサイクルにおける環境・健康・安全を確保する「RC活動」の理念やその方針は、花王全社員のみならず協力会社とも共有する必要があります。そのためRC推進委員会事務局や各推進部門のRC担当者は、社員や協力会社の社員を対象に、環境や労働安全衛生活動などのRC活動やその方針に関する教育を定期的に実施しています。

ステークホルダーとの協働／エンゲージメント

花王グループ各社はRC活動の基本項目の一つである「社会とのコミュニケーション」に基づき、環境・健康・安全に関わる方針や活動状況を積極的に開示し、消費者・顧客、従業員、地域社会等とコミュニケーションを積極的に行ない、すべてのステークホルダーの支持と信頼を得るよう努めます。

体制

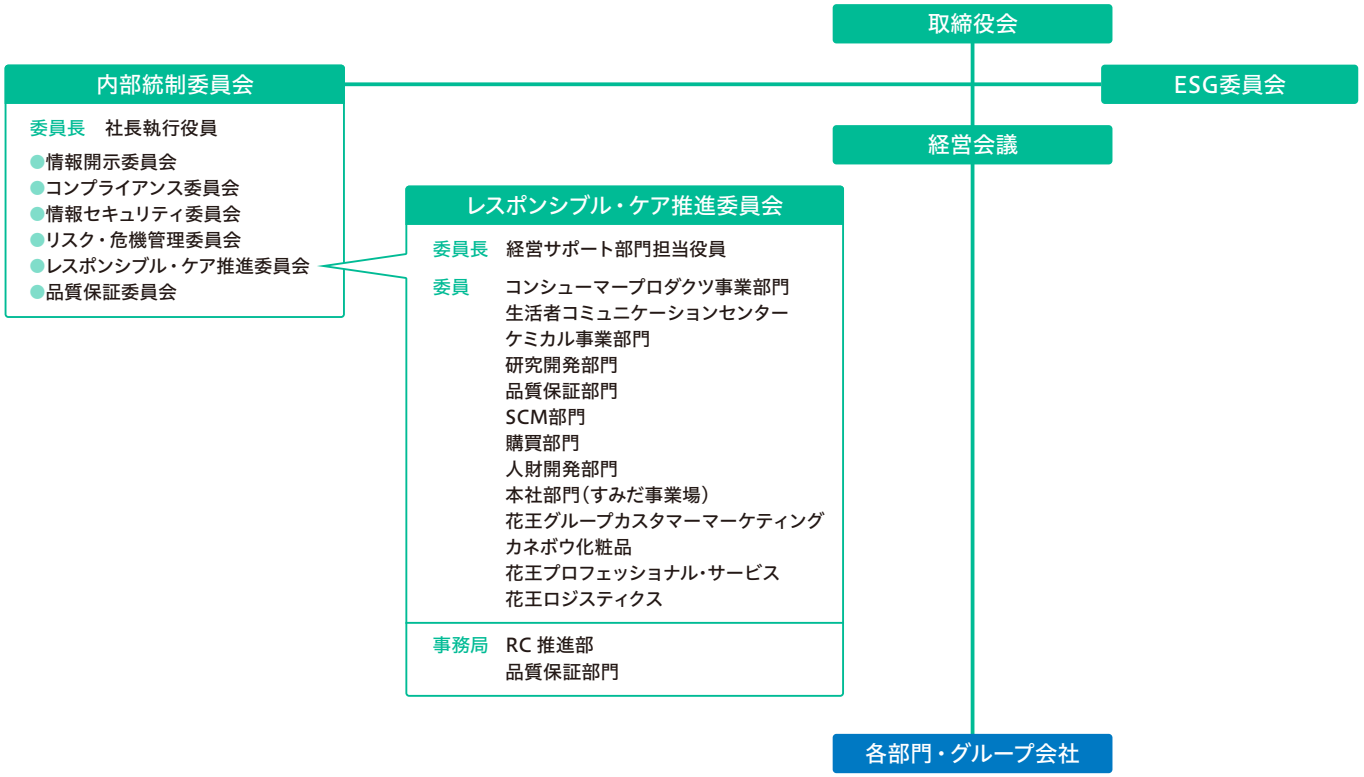
レスポンシブル・ケア推進委員会は、社長が委員長を務める内部統制委員会内の一委員会として位置づけられており、四半期に一度、内部統制委員会に報告を行なっています。内部統制委員会は取締役会へ傘下の委員会の活動報告をまとめて行ないます。レスポンシブル・ケア推進委員会の委員長は部門統括(常務執行役員)が務め、日本国内の8つの推進部門※の代表に加え、4部門の代表と品質保証部門の担当を加えた委員14人で構成しており、毎年1回開催しています。事務局はRC推進部と品質保証部門が務めています。

花王(株)を含む花王グループ内各ケミカル会社は、各国の化学工業会に参画しRC活動を推進しています。

※ 8推進部門:本社部門(茅場町事業場)、本社部門(すみだ事業場)、ケミカル事業部門、花王プロフェッショナル・サービス部門、研究開発部門、SCM部門、販売部門、花王ロジスティクス部門

➡コーポレート・ガバナンス
www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/sus-db-2020-all.pdf#page=2

レスポンシブル・ケア推進体制



※2019年12月現在

レスポンシブル・ケア活動 103-2,103-3,403-5（労働安全衛生2018）

中長期目標と実績

花王は2030年にグローバルでトップレベルの安全確保と環境保全を満たす企業になるべく、日々のRC活動を推進しています。

この目標を達成するために、現在のRC活動のさらなるレベルアップ、および活動範囲の拡大、マネジメントシステムの向上をめざしていきます。

中長期目標を達成することにより期待できること

事業インパクト

事業活動が正常に行なわれ、安定した商品供給が行なわれるとともに、不要な経費の発生が抑えられます。

社会的インパクト

事業活動地域において環境負荷の低減、衛生状況の改善、社会への還元が行なわれ、その結果、地域住民を含むステークホルダーの生活レベル（QOL）の向上に貢献できます。

2019年の実績

実績

2019年は9月20日に「花王グループRC推進委員会」、11月5・6日に「グローバルRCミーティング」、12月3日に「日本RCミーティング」をそれぞれ開催しました。

7月～8月にかけて「RC事務局監査」を日本およびグローバルの各会社、推進部門に対し実施しました。

またRC事務局監査の一環として、RC推進委員会事務局はいくつかの推進部門の自己点検に立ち会い、規程等に基づきRC自己点検が適切に実施されているか同行し確認しています。2019年は7月に実施されたSCM部門の安全防災部会監査、4月・5月・6月・8月に実施された花王ロジスティクス部門のRCパトロールに、RC推進委員会事務局が立ち会いました。

➡詳細は
P20「具体的な取り組み：RC活動の標準化」
P22「具体的な取り組み：RC事務局監査実施状況」
P23「具体的な取り組み：安全意識アンケートの実施」

実績に対する考察

環境では廃棄物目標が、安全では全項目が未達となりましたが、2020年も当初目標を維持し、推進します。

レスポンシブル・ケア活動 103-2,103-3,403-5（労働安全衛生2018）

具体的な取り組み

RC活動の標準化

日本国内の8推進部門およびすべての海外関係会社は、RC推進委員会で決定された花王RC目標をもとに、それぞれの業務内容や業種・業態に応じた活動計画を立案し、以下のようなサイクルでRC活動を推進しています。

毎年9月に開催する「花王グループRC推進委員会」では、活動方針の徹底やマネジメント体制の強化に関する施策を討議するほか、花王グループの中期目標と8月に行なうRC事務局監査の結果をもとに、次年の数値目標と活動目標を審議します。

10月～11月に開催する「グローバルRCミーティング」では、RC推進委員会事務局から「花王グループRC推進委員会」で決められた花王グループの中期および次年目標の説明を行ない、各社に次年の目標と計画の策定を依頼します。各社からはRC活動状況が発表され、グループ間での情報の共有を図ります。

12月に開催する「日本RCミーティング」では、「花王グループRC推進委員会」で決められた花王グループの数値目標と活動目標をもとに、各推進部門のRC推進委員が次年の計画案を発表し、審議します。この会議で承認された内容は、RC推進委員が各推進部門に持ち帰り、推進部門ごとにより細かく設けた活動ユニットへ伝えることで、現場に密着した活動の継続的な改善・レベルアップを図っています。

2019年は、9月20日に「花王グループRC推進委員会」を開催しました。事務局からは2019年のRC目標に対する花王グループ全体の上半期の実績やRC事務局監査結果を報告しました。また、推進部門から各部門の推進活動状況が発表され、最後に審議事項として、2020年の花王グループRC目標が承認されました。

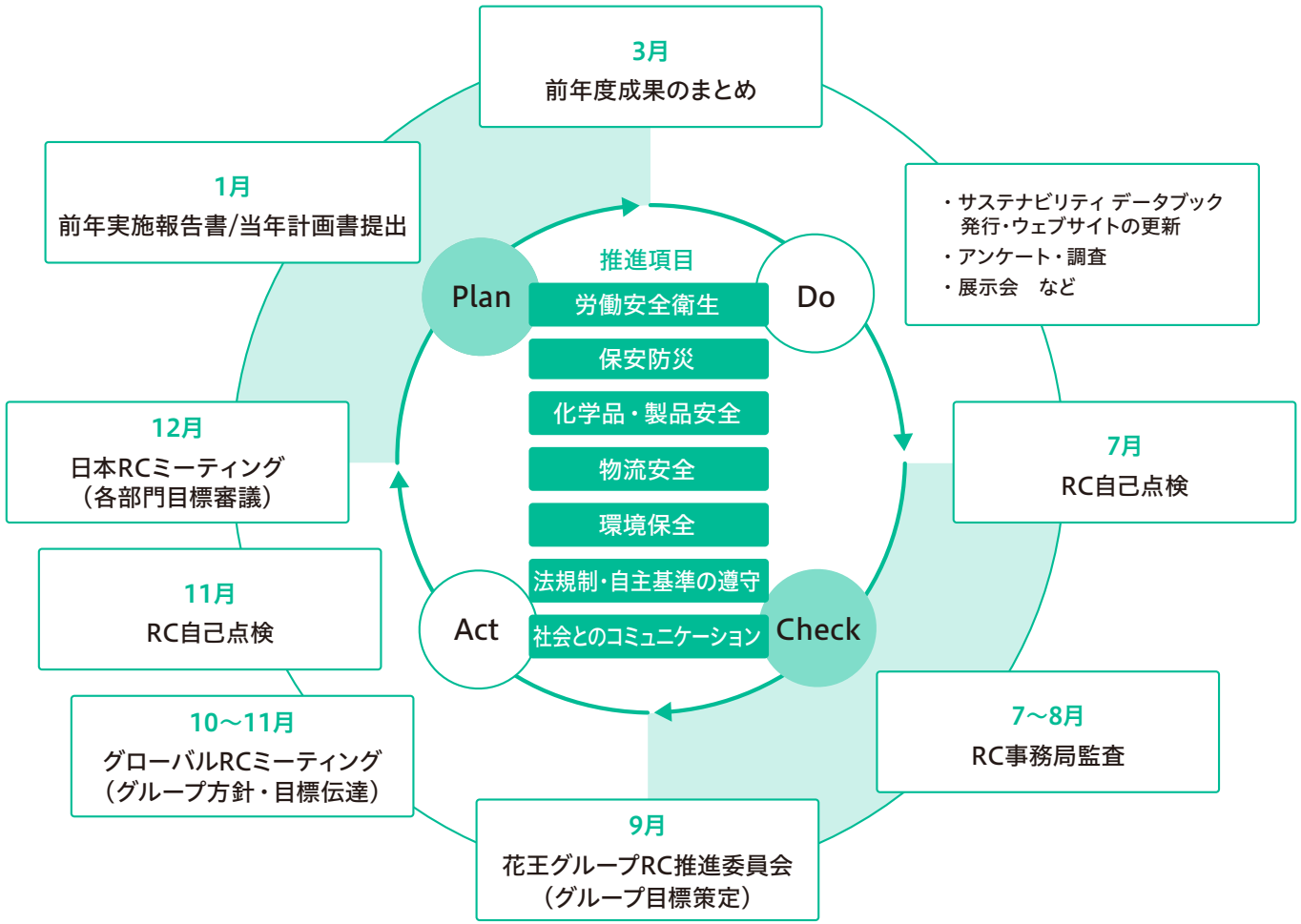
11月5・6日には「グローバルRCミーティング」を本社で開催し、日本以外では15のグループ会社から18人が参加しました。会議では花王グループのRC活動方針の理解を深め、2020年の目標の確認を行なうとともに、RC活動の活性化とレベルアップを目的に各社のRC活動の状況確認とアドバイス、強み弱みの理解、ベストプラクティスの共有、グローバルRCメンバーのコミュニケーション強化を図りました。

12月3日の「日本RCミーティング」では、各推進部門のRC推進委員が2020年の自部門の計画案を発表し、審議・承認されました。また事務局から2019年の環境および安全の実績報告を行ないました。

グローバルRCミーティング

レスポンシブル・ケア活動 403-1（労働安全衛生2018）

RC活動の年間サイクル



環境・安全データベースなどを活用

花王は、環境負荷の低減や労働災害・事故発生数の低減を図るための環境・安全データベースである「環知安システム」※を構築して運用しています。

このシステムでは、花王全体の温室効果ガスの排出量や労働災害の発生度数率・強度率などを自動算出することができ、環境負荷低減や労働災害防止に活用しています。

グループでより効率的に環境・安全データを利用するために、新しいシステムへの移行を検討中で、現在情報システム部門とともに具体的なシステムの検討を行なっています。

※ 環知安システム
エネルギー使用量、温室効果ガス排出量、ばい煙排出量、水使用量、排水量、排水濃度測定結果、土壌・地下水測定結果、PRTR法対象化学物質の取扱量および排出量・移動量、廃棄物等の発生量・排出量・最終埋立処分量、労働災害統計、交通事故統計など、多様なデータを共有している。

レスポンシブル・ケア活動 103-2,103-3,403-2(労働安全衛生2018)

RC事務局監査実施状況

花王は、RC活動の進捗状況や課題を把握するために、7月に各推進部門が活動ユニットに対してRC自己点検を、8月にRC推進委員会事務局より選出された監査チームが、日本の各推進部門および海外グループ会社に対して監査を実施しています。

また、これらの結果を9月の「花王グループRC推進委員会」および11月の「グローバルRCミーティング」で報告するとともに、翌年の数値目標や活動目標の策定に活かしています。

なお本監査は全社規程(B-02-00「レスポンシブル・ケア事務局監査規程」)に基づき実施されるもので、監査に用いるチェックシートの設問ごとに実施状況(実施の有無、実施率)を点数付けすることで評価します。

2019年は7月から8月にかけて、日本の8推進部門、海外は安全と環境面の影響度を配慮して工場を持つグループ会社19社※に対して、チェックシートを用いてRC事務局監査を実施しました。2018年よりチェックシートの監査範囲を従来のものから拡大し、より高度な活動の推進状況を確認しています。

また2019年は廃棄物に関する法令の遵守状況および管理体制等について、別途チェックシートを作成し監査を実施しました。

日本については、各推進部門と対面で法的要求事項・基準等の遵守状況、計画の進捗状況や数値目標の達成状況などを確認しました。海外については、法令遵守体制を確認するチェックシートを送付し、その回答結果について書類監査を実施しました。あわせて今回の監査で2018年の監査時の指摘事項についてはすべて対応済みであることも確認しました。

2019年のRC事務局監査の結果について、日本では全8推進部門で評価平均点が4.5点以上を獲得しRC推進体制が整ってきたことが確認できましたが、継続観察が必要な項目としてマネジメントシステムおよび労働安全に関する指摘が多く見られたため、さらなるレベルアップを依頼しました。海外では多くの会社で2018年より評価点数の改善が見られました(下表参照)。

※ 上海花王、花王(合肥)、上海花王化学、花王(上海)化工、花王葫芦島鋳造材料、花王(台湾)、花王(ベトナム)、ピリピナス花王、花王インダストリアル(タイランド)、ファティケミカル(マレーシア)、花王(インドネシア)、花王インドネシア化学、花王USA、花王スペシャルティーズアメリカズ、キミ花王、花王マニュファクチュアリングジャーマニー、ドイツ花王化学、モルトンブラウン、花王コーポレーション(スペイン)

RC事務局監査実績(2019年)

	SCM部門	研究開発部門	事業部門	コーポレート部門	日本グループ会社※1	海外グループ会社※2
設問数	185	163	250	327	533	5,002
継続観察が必要な項目	2	3	1	2	6	—
評価平均点(5点満点)※3	4.92 (4.92)	4.95 (4.92)	4.88 (4.88)	4.94 (4.90)	4.90 (4.90)	4.52 (4.48)

※1 国内グループ会社
花王プロフェッショナル・サービス(株)、花王グループカスタマーマーケティング(株)、花王ロジスティクス(株)
※2 海外グループ会社
19社(アジア12、欧米7)
※3 ( )内は2018年の結果

レスポンシブル・ケア活動 403-1（労働安全衛生2018）,403-2（労働安全衛生2018）,403-4（労働安全衛生2018）

安全意識アンケートの実施

従業員の安全に対する意識を調査し、今後の安全活動に役立てるため、独自の「安全意識アンケート」を2018年より実施しています。初年度となる2018年は日本のSCM部門で実施しました。2018年から2019年にかけては各職場で本アンケート結果に対するアクションプランを立案・実行し、安全意識のさらなる向上をめざしました。

2019年は本アンケートを日本国内では研究開発部門で実施するとともに、海外グループ会社にも拡大実施し、中国の全5工場、花王インドネシア化学、花王（台湾）で実施しました。

今後も国内他部門や海外従業員に対しても順次本アンケート調査を実施していきます。

国際マネジメントシステム認証状況

花王は、RCマネジメントシステムを全拠点を対象に導入していますが、環境の国際規格であるISO14001、労働安全衛生の規格であるOHSAS18001の認証や各国の認証も受けています。

環境に関する認証取得状況（ISO14001等）

外部認証を受けている工場の割合は95％です（総生産量重量基準）。

活動の標準化・高度化をめざし、個別工場で取得していた認証の統合を実施し、日本とアジアの15サイトで完了しています。今後、統合する工場を増やすなど、認証取得拠点の拡大を実施していきます。

労働安全衛生に関する認証取得状況（OHSAS18001等）

労働安全衛生のマネジメント規格は、日本と比較して労働災害が多く、労働管理の強化が必要な海外の工場で取得を推進しており、その割合は35％です（総生産量重量基準）。

個別工場で認証を取得していましたが、活動の標準化・高度化をめざし、アジアの5工場での統合化が2018年に完了しました。今後、ISO45001への移行や統合する工場を増やすなど、認証取得拠点の拡大を実施していきます。

品質に関する認証取得状況（ISO9001等）

外部認証を受けている工場の割合は95％です（総生産量重量基準）。今後、認証取得工場を拡大していきます。

外部認証取得一覧

➡ISO等認証取得一覧
www.kao.com/jp/corporate/sustainability/our-approach-to-klp/environment-activity-data/certification/

Topic

SCM部門が「レスポンシブル・ケア（RC）」の大賞を受賞

花王SCM部門が「プロセス安全評価による防災活動」において、一般社団法人日本化学工業協会「第13回 RC賞」の最高位である「RC大賞」を2年連続で受賞しました。

社内外の火災・爆発事故情報を収集・解析・体系化し、全社一丸となって実施する花王独自の防災強化活動が火災・爆発事故を大きく減らしていることや、独自の安全防災技術を広く公表していこうとする姿勢が高く評価されました。

表彰式

レスポンシブル・ケア活動 102-43,403-5（労働安全衛生2018）

RC活動に関する教育

RC推進委員会事務局や各推進部門のRC担当者は、社員や協力会社の社員を対象に、環境や労働安全衛生活動などのRC活動に関する教育を定期的に実施しています。

2019年にRC推進委員会事務局が社員を対象に実施したRCの集合教育は52回、のべ770人（日本28回、606人／アジア・米州・欧州24回、164人）が参加しました。

2015年は、日本花王グループ社員を対象にRCの基礎知識について教育を実施しており、2015年以降の新入社員や中途入社社員に対しては同様の内容をeラーニングにて教育しています。

地域とのコミュニケーションを深める広報誌を発行（和歌山事業場）

和歌山事業場では、地域の皆さま向けの広報誌として「かけはし」を発行しています。

地域の皆さまには、これまでも工場見学や環境・安全防災報告書等を通じて情報を発信してきましたが、和歌山工場は「近くて遠い存在」と認識されている方が多いように見受けられました。一方で、社会的に多発する事故や災害の報道により、安全・防災、環境に強い関心を持つ方は増加傾向にあります。

そこで、和歌山工場では“取り組み”や“思い”を発信し、さらに地域との交流を深める目的で2018年から広報誌「かけはし」を発行し、近隣の約1,000世帯と協力会社35社に定期的にお届けしています。

「かけはし」第1号

自治会長さま宅へお届け

レスポンシブル・ケア活動

レスポンシブル・ケア活動 関連データ リンク集

レスポンシブル・ケア活動の体制、主な活動内容、2019年の実績は、以下もあわせてご覧下さい。

労働安全衛生

➡正道を歩む＞社員の健康増進と安全
www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/klp-pr-2020-all.pdf#page=175

保安防災

➡保安防災
www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/sus-db-2020-all.pdf#page=94

化学品・製品安全

➡Our Approach to KLP＞化学物質をより安全に使用するための取り組み（SAICM推進活動）
www.kao.com/jp/corporate/sustainability/our-approach-to-klp/saicm/

➡Topics You Care About＞品質保証
www.kao.com/jp/corporate/sustainability/topics-you-care-about/safety-quality/

➡正道を歩む＞責任ある化学物質管理
www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/klp-pr-2020-all.pdf#page=192

環境保全

➡Our Approach to KLP＞環境・安全の基本理念と基本方針
www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/environment-safety-principle-policies.pdf

➡Our Approach to KLP＞花王 環境宣言
www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/environmental-statement.pdf

➡Our Approach to KLP＞環境活動データ集
www.kao.com/jp/corporate/sustainability/our-approach-to-klp/environment-activity-data/

➡生物多様性
www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/sus-db-2020-all.pdf#page=49

➡Topics you care about＞責任ある原材料調達
www.kao.com/jp/corporate/sustainability/topics-you-care-about/procurement/

➡よりすこやかな地球のために
www.kao.com/jp/corporate/sustainability/planet/

法規制・自主基準の遵守

➡正道を歩む＞実効性のあるコーポレートガバナンス
www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/klp-pr-2020-all.pdf#page=134

社会とのコミュニケーション

➡Corporate Citizenship Activities（社会貢献）
www.kao.com/jp/corporate/sustainability/society/